

！ 洪水ハザードマップの見方

大雨や台風などで河川があふれることにより発生する洪水に備えるためのハザードマップです。浸水が予想される区域や水深、指定緊急避難場所、指定避難所などが示されています。



洪水被害
河川の氾濫などにより予想される浸水の範囲や深さが、段階ごとに色分けして示されています。

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域
この他にも、河岸浸食により非木造家屋も倒壊する危険性があるエリアが示されている場合があります。

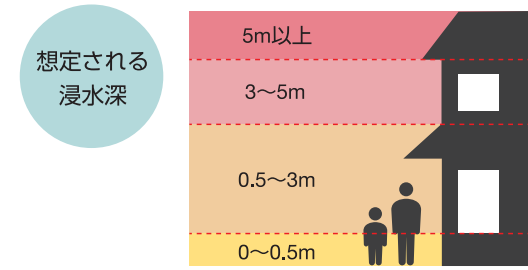
防災行政無線
災害時の防災情報を屋外のスピーカーで住民に一斉通報するなど、市町村が整備している通信システムです。

指定緊急避難場所
切迫した災害の危険から逃れ、身の安全を確保することができる場所です。災害の種類によって異なる場合があります。

- 看板等でどんな災害の時に避難してよいか示されているので確認しておきましょう。
- 指定避難所と兼ねている場合が多いです。

指定避難所
災害により自宅で生活できない人が、一時的に生活する施設です。

凡 例			
	指定避難所		消防署
	指定緊急避難場所		病院
	役場		防災行政無線
	警察署		防災備蓄倉庫
	早期の立ち退き避難が必要な区域		
	木造家屋の倒壊等をもたらす氾濫流が発生する恐れのある区域		
	土砂災害特別警戒区域		
	土砂災害警戒区域		避難時の危険箇所



- 色分けによって浸水する深さの目安がわかります。
- 自宅や避難場所は、どのくらい浸水するんだろう？

※市町村によって、マークや名称が異なります。お住いの市町村のハザードマップで確認してください。